

光と闇の戦い

【1】神のご計画の全容 ～神の国のはじまり、悪魔の国のはじまり～

2024年1月29日（月）
恵比寿BF



アウトライン



- 【1】ギャップセオリー
- 【2】ディスペンセーション
- 【3】神のご計画の全容～神の国と悪魔の国の葛藤～
- 【4】神の国の始まり、悪魔の国の始まり

【ゴール】

- (1) サタンによる支配に打ち勝つためには
- (2) 真の楽天主義とは

【1】ギャップセオリー



(1) 創世記1:1と1:2の間

創世記1:1-3

- 1 はじめに神が天と地を創造された。
- 2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上であり、神の霊がその水の面を動いていた。
- 3 神は仰せられた。「光、あれ。」すると光があった。

Q:神が創造された世界は、カオスなのか？

この質問にどう答えるかで、その人の聖書観や世界観が決まってくる。

トータル的な聖書の理解、サタン（悪／闇）の存在の理解、終末論の理解

2

【1】ギャップセオリー



(2) Original Creation View / Pre-Creation Chaos View

創造の前から、何らかの理由でカオスが存在していた。

創世記の創造記事は、絶対的（無から有）創造ではなく、相対的な創造である。

(3) Gap Theory

創世記1:1と2の間に、時間的な隔りがある。

1節：天地は完璧な状態で創造された。無から有の創造。

2節：完璧な天地が、カオスになっている。

「トーフー・ワ・ボーフー」という3語がカオスを表現しており、「トーフー」と「ボーフー」が対になって登場するのは**イザヤ34：11、エレ4：23**。ともに、裁きを表している。

1節と2節の間に、サタンの墮落がある。

3



イザヤ34:11

ふくろうと針ねずみがそこをわがものとし、みみずくと烏がそこに住む。
主はその上に茫漠の測り縄を張り、空虚の重りを下げる。

But the pelican and the porcupine shall possess it; and the owl and the raven shall dwell therein: and he will stretch over it the line of **confusion** (トーフ), and the plummet of **emptiness** (ポーフ).



エレミヤ4:23

私が地を見ると、見よ、茫漠として何もなく、天を見ると、その光はなかった。

I beheld the earth, and, lo, it was without **form** (トーフ), and **void** (ポーフ); and the heavens, and they *had* no light.

1 節と 2 節の間に、サタンの墮落がある。

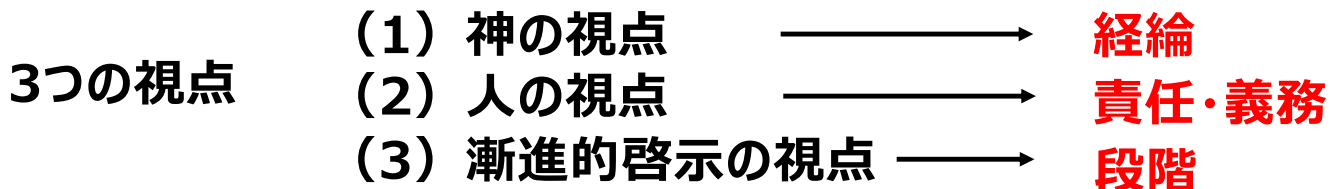
【2】ディスペンセーション



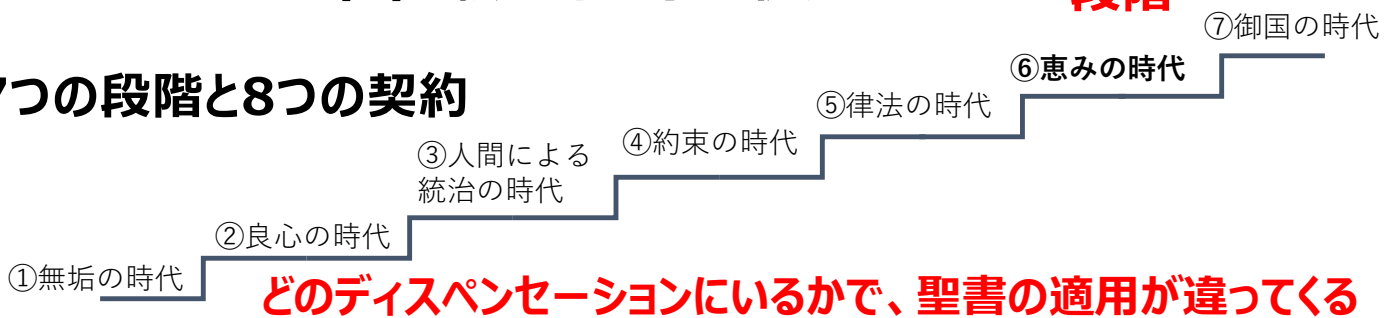
(1) ディスペンセーションとは

神の計画の進展において明確に区分される経綸

※秩序を整えおさめること。またその方策



7つの段階と8つの契約



【2】ディスペンセーション



(2) 7つの時代

①無垢の時代	罪のない状態で創造された。(天使の世界では既に罪があった)
聖書区分	創世記1:28~3:8
中心人物	アダム
人々の責任	エデン契約への従順
テスト	善悪の知識の木から取って食べてはならない。 神への従順が試された
人間の失敗	木から取って食べた
神の裁き	エデンの園から追放→次の時代へ アダム契約 (創3:14-19) 良心の時代の土台となるもの
恵みの要素	「女の子孫」である救い主の約束。 罪の問題の解決 → 良心の時代へ

【2】ディスペンセーション



②良心の時代	神が人類を統括する原則は、良心(ローマ2:15)。政府という組織がなくても、自分で統治できる時代。
聖書区分	創世記3:9～8:14
中心人物	アダム
人々の責任	アダムの契約 (良心の声) に従う。もし失敗したなら、血の犠牲を捧げる。創3:21の皮の衣により、血の原則は理解されていた。創4:8のアベルの捧げものは血の犠牲。
テスト	人は良心に従うか。
人間の失敗	カインがアベルを殺した。(創4:8) 悪の拡大、良心の麻痺 (創6:5) 【主】は、地上に人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった。
神の裁き	ノアの洪水
恵みの要素	創5:24 エノク ノアの家族の救い → ノアの契約へ 人間の統治による時代へ

8

【2】ディスペンセーション



ローマ2 : 14-15

- 14 律法を持たない異邦人が、生まれつきのままで律法の命じることを行う場合は、律法を持たなくても、彼ら自身が自分に対する律法なのです。
- 15 彼らは、律法の命じる行いが自分の心に記されていることを示しています。彼らの良心も証ししていて、彼らの心の思いは互いに責め合ったり、また弁明し合ったりさえするのです。

9

【2】ディスペンセーション



③人間の統治による時代	公正な政府（創9:6） 死刑制度があることは、人間の政府があることが前提となる。
聖書区分	創世記8:15～11:32
中心人物	ノア
人々の責任	ノア契約への従順さ 創9:1-17
テスト	公正な政府。人類は地上に広がる。
人間の失敗	人類は一か所にとどまり、統一政府を志向した。 バベルの塔の事件
神の裁き	言葉の混乱
恵みの要素	新の信仰者の存在 →アブラハム 約束の時代へ

10

【2】ディスペンセーション



④約束の時代	人間の政府に代わって族長たちが支配。
聖書区分	創世記12:1～出エジプト18:27
中心人物	アブラハム
人々の責任	アブラハム契約 (創12:1～3 創12:7 創13:14～17 創15:1～21 創17:1～21 創22:15～18)
テスト	カナン人からの分離
人間の失敗	・ビジネスをカナン人と共有する。 ・カナン人との結婚 イサクは同族から妻を迎えた、エサウはカナン人と結婚、ユダの墮落（創世記38章）
神の裁き	エジプトでの奴隷
恵みの要素	神は民族的にも宗教的にもイスラエルを守られた。 →モーセの律法が与えられる。律法の時代へ

1

【2】ディスペンセーション



アブラハム契約の条項

- ①偉大な国家、すなわちイスラエルという国家が、アブラハムから出てくる
- ②土地が約束された
- ③アブラハム自身も祝福される
- ④アブラハムの名前がおおいなるものとなる
- ⑤アブラハムは、他の者たちにとっても祝福となる（12:2d）
- ⑥イスラエルを祝福するものは祝福される（12:3a）
- ⑦イスラエルを呪う者は呪われる
- ⑧アブラハムにあって、地上のすべての民族は祝福される（12:3c,22:18）
- ⑨その妻サラを通して、ひとりの息子が与えられる
- ⑩彼の子孫が、エジプトでの奴隷生活を経験する
- ⑪イスラエル以外の国民も、アブラハムから出てくる。アラブ諸国もこのうちに含まれる
- ⑫彼の名が、アブラムからアブラハムに変えられることになる
- ⑬サライの名がサラに変えられることになる

12

【2】ディスペンセーション



⑤律法の時代	モーセの律法から来ている
聖書区分	出エジプト19:1～使徒行伝1:26
中心人物	モーセ
人々の責任	モーセ契約（律法）に従う。預言者に従う。
テスト	・すべての律法を行う（ヤコブ2:10） ・メシアが登場したなら信じる（申命記18:15～19）
人間の失敗	・律法を守ることに失敗（ローマ10:1～3） ・預言者に従わなかった（Ⅱ歴36:14～16） ・メシアを拒否（マタイ12章）
神の裁き	アッシリア捕囚、バビロン捕囚、離散（紀元70年）
恵みの要素	メシアの再臨 →恵みの時代へ

13

【2】ディスペンセーション



⑥恵みの時代	恵みとまことはイエス・キリストを通して 信仰義認
聖書区分	使徒2:1～黙示録19:21
中心人物	パウロ
人々の責任	<ul style="list-style-type: none"> ・神からの「義の賜物」を受け取る責任（メシアを通して受け取る）（ローマ5:15～18） ・新約聖書の教えに従う（Iコリント15:1～4）
テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・大半の人がこれを拒否 ・教会でさえも、背教する
人間の失敗	<ul style="list-style-type: none"> ・律法を守るにし失敗（ローマ10:1～3） ・預言者に従わなかった（II歴36:14～16） ・メシアを拒否（マタイ12章）
神の裁き	大患難時代
恵みの要素	アブラハム契約に基づく、異邦人の救い レムナント 携拳、イスラエルの民族的救い → 千年王国へ

4

【2】ディスペンセーション



⑦御国の時代	メシア的王国、千年王国
聖書区分	黙示録20:1～10
中心人物	メシア
人々の責任	御国の律法への従順
テスト	千年王国で誕生した人は、メシアを主とし、王として受け入れる
人間の失敗	理想的な環境での人間（千年王国で誕生した人）の罪、サタンの反逆に参加
神の裁き	天から神の火が下る 第2の復活、白い御座の裁き
恵みの要素	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラエルに対する神の契約はすべて成就 ・千年王国時代に信じたものは、どこかで永遠の体を与えられる（イザヤ65:20） → 永遠の秩序

15

【2】ディスペンセーション



イザヤ65:16-25

- 16 この地で祝福される者は まことの神によって祝福され、この地で誓う者は まことの神によって誓う。
かつての苦難は忘れられ、わたしの目から隠されるからだ。
- 17 見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。先のことは思い出されず、心に上ることもない。
- 18 だから、わたしが創造するものを、いついつまでも楽しみ喜べ。見よ。わたしはエルサレムを創造して喜びとし、その民を楽しみとする。
- 19 わたしはエルサレムを喜び、わたしの民を楽しむ。そこではもう、泣き声も叫び声も聞かれない。
- 20 そこにはもう、数日しか生きない乳飲み子も、寿命を全うしない老人もいない。百歳で死ぬ者は若かったとされ、百歳にならないで死ぬ者は、のろわれた者とされる。

16

【2】ディスペンセーション



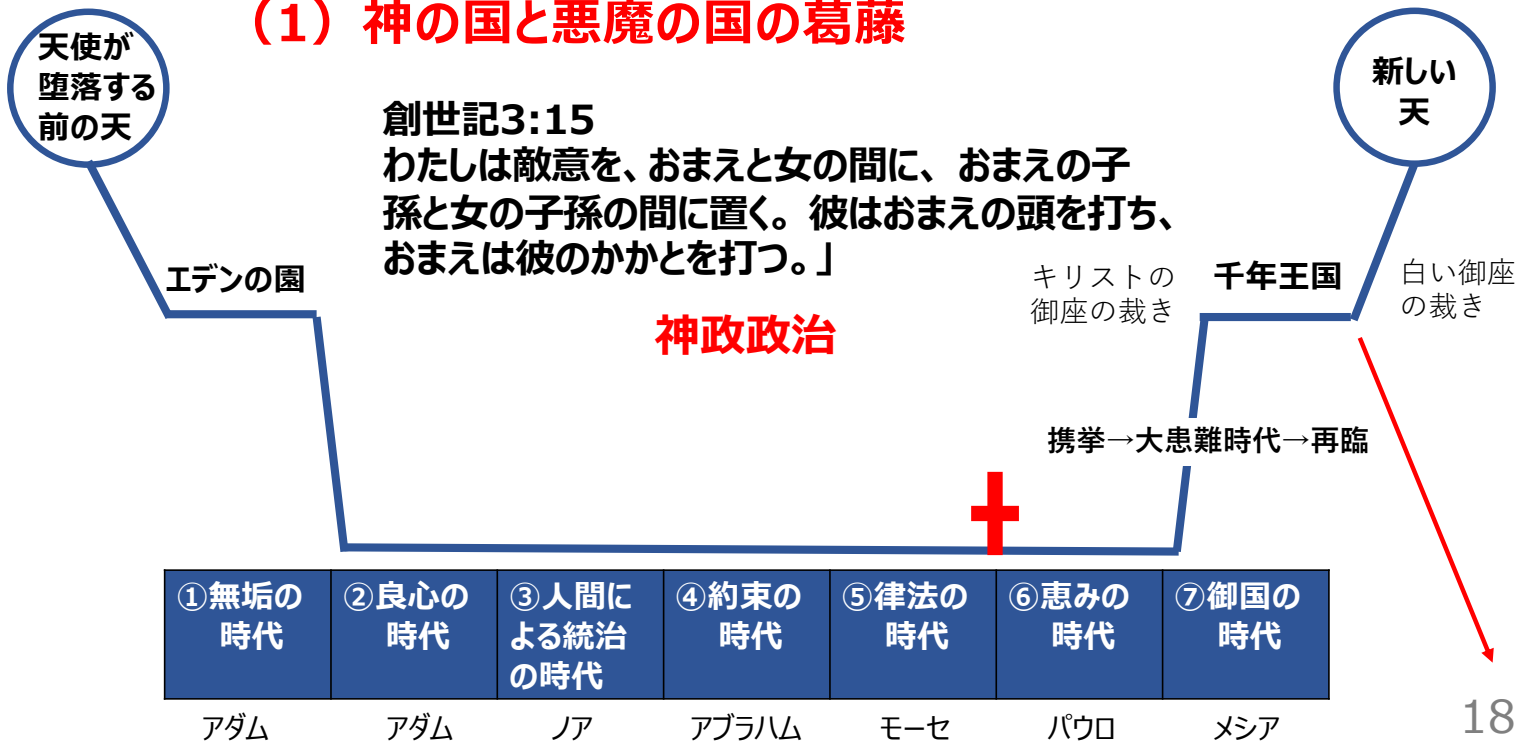
- 21 彼らは家を建てて住み、ぶどう畑を作って、その実を食べる。
- 22 彼らが建てて他人が住むことはなく、彼らが植えて他人が食べることはない。わたしの民の寿命は、木の寿命に等しく、わたしの選んだ者たちは、自分の手で作った物を 存分に用いることができるからだ。
- 23 彼らは無駄に労することもなく、子を産んで、突然その子が死ぬこともない。彼らは主に祝福された者の末裔であり、その子孫たちは彼らとともにいるからだ。
- 24 彼らが呼ばないうちに、わたしは答え、彼らがまだ語っているうちに、わたしは聞く。
- 25 狼と子羊はともに草をはみ、獅子は牛のように藁を食べ、蛇はちりを食べ物とし、わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、滅ぼすこともない。——主は言われる。」

17

【3】神のご計画の全容



(1) 神の国と悪魔の国の葛藤



【3】神のご計画の全容



歴史哲学とは

歴史哲学は、歴史と哲学の両方を結びつけた学問の一分野です。個々の歴史的な出来事や時代だけでなく、歴史全体にわたる普遍的な原則やパターンを追求し、歴史が人間の存在や社会に対してどのように意味を持つかを考察します。しかし有限の人間による哲学的思考には限界があります。そこで、これらの考察の基準となるのが、聖書です。聖書には、歴史を導く原則が啓示されています。その歴史哲学を用いれば、**さまざまな歴史上の出来事**が、いつどこでなぜ起こったのを説明することができます。なので聖書は、世界観であり歴史観と言われるのです。

- ①世界の始まり
- ②死の存在
- ③悪の存在
- ④多言語の存在
- ⑤イスラエルの民の存在
- ⑥反ユダヤ主義
- ⑦ホロコースト
- ⑧近代イスラエル国家の復興
- ⑨教会の存在など

聖書によれば、歴史とは、神の国と悪魔の国の葛藤の記録でもある。

【4】神の国の始まり、悪魔の国の始まり



(1) 神の国の始まり

Q：神はなぜ、天地を創造し、人間を創造されたのか？

「神は孤独で寂しかったので、愛の対象として人間を創造された」というのは、正しい回答ではない。神は、永遠の昔から、三位一体の神として(父、子、聖霊という3つの位格において)存在しておられる、**完全に自己充足し、自己完結したお方**である。

天地創造の前には、神以外のものは何も存在しなかった。これは、神を理解する際に極めて重要な情報である。

20

【4】神の国の始まり、悪魔の国の始まり



第1テモテ1:15-17

15 「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

16 しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例にするためでした。

17 どうか、世々の王、すなわち、朽ちることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

永遠の王である神は、永遠の昔に、御自身が王として統治する「神の国」を造ろうとされた。

21



(2)王国の条件

- ①王の存在
- ②王国を統治するための権威
- ③臣民の存在



天地創造の目的は
神の国の臣民を造り出す
こと



(3)天使の創造

ヘブル1:14

御使いはみな、奉仕する霊であって、救いを受け継ぐことになる人々に仕えるために遣わされているではありませんか。

ダニエル7：10

「幾千もの者がこの方に仕え、幾万もの者がその前に立っていた」

ヘブル12：22

「無数の御使いたちの喜びの集い」

黙示録5：11

「その数は万の数万倍、千の数千倍であった」



(4)人間の創造

創世記2：7

神である【主】は、その大地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった

創世記1：26-28

神は仰せられた。『さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。』神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された

神政政治／神が代理人を通して地上を管理する統治形態



創世記1：31

神はご自分が造ったすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった

【4】神の国の始まり、悪魔の国の始まり



(3)悪魔の国のはじまり

エゼキエル28:12-17

- 12 「人の子よ。ツロの王について哀歌を唱えて、彼に言え。神である主はこう言われる。あなたは全きものの典型であった。知恵に満ち、美の極みであった。
- 13 あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石に取り囲まれていた。赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、縞めのう、碧玉、サファイア、トルコ石、エメラルド。あなたのタンバリンと笛は金で作られ、これらはあなたが創造された日に整えられた。
- 14 わたしは、油注がれた守護者ケルビムとして あなたを任命した。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いていた。

26

【4】神の国の始まり、悪魔の国の始まり



- 15 あなたの行いは、あなたが創造された日から、あなたに不正が見出されるまでは、完全だった。
- 16 あなたの商いが繁盛すると、あなたのうちに暴虐が満ち、こうしてあなたは罪ある者となった。そこで、わたしはあなたを汚れたものとして 神の山から追い出した。守護者ケルビムよ。わたしは火の石の間から あなたを消え失せさせた。
- 17 あなたの心は自分の美しさに高ぶり、まばゆい輝きのために自分の知恵を腐らせた。そこで、わたしはあなたを地に放り出し、王たちの前で見せ物とした。

27



墮落する前のサタンは、「**守護者ケルブ**」と呼ばれていた。
彼は、「**全きものの典型**」であり、「**知恵に満ち、美の極みであった**」。
彼は**エデンに置かれ**、9つの宝石が彼を覆っていた。これは、大祭司の胸に付けられていた12の宝石と対比されるものである(出28:17~20)。恐らく彼には、天の聖所において、祭司的役割を与えられていたのであろう。
その彼が、**神の権威に挑戦し、神の国を破壊して自らが支配する王国を造ろうとした**。
その結果、「**守護者ケルブ**」はサタン(敵対者)と呼ばれるようになった。



サタンの誘惑

神の国の臣民を悪魔の国の臣民に作り変えること

エペソ2:1-3

- 1 さて、あなたがたは自分の背きと罪の中に死んでいた者であり、
- 2 かつては、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って歩んでいました。
- 3 私たちもみな、不従順の子らの中にあって、かつては自分の肉の欲のままに生き、肉と心の望むことを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。



全的墮落

人間は、罪を犯した瞬間に靈的に死んだ。神との断絶。
今まで人間には神を慕い求める性質があったが、今は、神に敵対するものとなった。

ローマ8：7

7 なぜなら、肉の思いは神に敵対するからです。それは神の律法に従いません。いや、従うことができないのです。

8 肉のうちにある者は神を喜ばせることができません。



サタンはこの世を支配するものとなった

ヨハネ12：31

31 今、この世に対するさばきが行われ、今、この世を支配する者が追い出されます。

神の国と悪魔の国の葛藤のはじまり



ヨハネ16：7-11

- 7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに119助け主はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。
- 8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて世の誤りを明らかになさいます。
- 9 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。
- 10 義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。
- 11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。

【ゴール】



(1) サタンによる支配に打ち勝つためには

エペソ6:14-17

- 14 そして、堅く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、
- 15 足には平和の福音の備えをはきなさい。
- 16 これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。
- 17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。



- ① 真理の帯
- ② 正義の胸当て
- ③ サンドル／平和の福音の備え
- ④ 信仰の大盾
- ⑤ 救いのかぶと
- ⑥ 御霊の与える剣



(2) 真の楽天主義とは

ヨハネ1:4-5

4 この方にはいのちがあった。このいのちは人の光であった。
5 光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。

天使が
墮落する
前の天

新しい
天

エデンの園

キリストの
御座の裁き

千年王国

白い御座
の裁き

携挙→大患難時代→再臨

